

公表:平成31年3月19日

事業所名 HOP

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○			静と動のスペースを しっかり分けている	
	② 職員の配置数は適切であるか	○				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	○				
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果を集計 し意見の多かった内 容をスタッフ間で話し 合い療育に活かして いる	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○				
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか		○			定期的にもぎのこさんが来 所されているので事業所の 改善点等の意見を求める
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか		○			月1回のミーティング等で 行うこともあるがまだ不十 分である
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成しているか	○				
適切な支 援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか		○			アセスメントツールを使用 するには不十分な面がある の
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月1回のミーティング 時に翌月の活動内容を 確認している	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○			ミーティング時にの活 動内容を確認し固定 化しないよう工夫して いる	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○			長期休暇ならではの 活動を企画し実行し ている	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画 を作成しているか	○				
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	○			朝礼時に、送迎や一 日の活動内容を確認 している	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、そ の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有しているか		○		送迎の時間の関係で 全員揃っての終礼は 出来ないため、翌朝 礼で周知している	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか	○				

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			月1回のミーティング時に翌月の活動内容を確認している	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○			まだ不十分なので今後はガイドラインの総則を意識する
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校から、おたよりをいただいたり、年間行事予定のコピーをいただいたりしている	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			対象児童がいない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			今後必要な場合、幼稚園や保育園等と情報共有を行っていく
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか		○			対象児童がまだいない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		関わる時間をほとんど設けていなかったため今後は交流を考えていく
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			不十分なので今後は行っていく
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			今後茶話会や、個人懇談を開催する予定
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○				
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				夏祭り等で、地域の老人施設の方や一般の方の参加を行っている
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○		マニュアルは準備しているが保護者への周知が徹底されていない
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回、地震と火災を想定した避難訓練を行っている	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○			ミーティングの中でお話しているが研修機会確保するまでには至っていない
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○			対象児童がいない
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				事前にアレルギーの調査を行い、適切に対応している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○		ヒヤリハットは作成しているが事例集を作り研修は行っていないので今後行う

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:平成31年3月19日

事業所 HOP 保護者等数(児童数) 回収数 10 割合 77 %

	チェック項目	保護者等数(児童数)				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1		1		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	8			2	子どもの状態によって配置数や専門性を増やせるとなお良い	事業所研修を通して、専門性の向上に努める
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1		6		
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10					
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9			1		
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		2	7	あると嬉しい	関わる時間をほとんど設けていなかったので今後は交流を考えていく
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	2				
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	2				
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	2	1	3	送迎以外で話す時間を設けてほしい	今後茶話会や、個人懇談を開催する予定
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	2	6		
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			6		
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9			1		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7		2	1		
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	8			2		
非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	1	2	3		
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1		5		
満足	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	9	1				

年度	⑱ 事業所の支援に満足しているか	10					
----	------------------	----	--	--	--	--	--

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表:平成31年3月19日

事業所名

HOP

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			静と動のスペースをしっかりと分けている	
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				アンケート結果を集計し意見の多かった内容や早急に改善すべき事をスタッフ間で話し合い療育に活かしていく
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			定期的にもぎのこさんが来所されているので事業所の改善点等の意見を求める
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○			月1回のミーティング等で行うこともあるがまだ不十分である
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○			アセスメントツールを使用するには不十分な面があるの
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月1回のミーティング時に翌月の活動内容を確認している	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			ミーティング時に活動内容を確認し固定化しないよう工夫している	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時に、送迎や一日の活動内容を確認している 連絡ノートも活用	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎の時間の関係で全員揃っての終礼は出来ないため、翌朝礼で周知している	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○			対象児童がまだいない
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○			対象児童がまだいない
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○			
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○			
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○			不十分なので今後は行っていく
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				今後茶話会や、個人懇談を開催する予定
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			今後茶話会や、個人懇談を開催する予定
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				夏祭り等で、地域の老人施設の方や一般の方の参加を行っている
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回、地震と火災を想定した避難訓練を行っている	
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○				



④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○				
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○			ミーティングの中でお話しているが訓秀機会確保するまでには至っていない
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○			対象児童がない

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:平成31年3月19日

事業所 HOP 保護者等数(児童数) 回収数 13 割合 86 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13				良いと思う	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1		2	専門性のあるスタッフが誰かわからない	今後はスタッフ紹介等のプリントに資格も記載することを検討
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12			1	靴箱の写真がわかりやすい 安心できる 視覚効果がよい	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13				きれい 広くてよい	
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13				分かりやすい デイに通ってから出来る ことが増えた	
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11			2		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12			1		
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11			2	曜日によってやる ことが違うのが良い	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	4	5	他事業所との関わりは あるが、その他の関係 機関とは交流がない	今後は交流を考えている
保護者 への 説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13					
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	11			2		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5	3	3	2	機会なし	機会を設けていく
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	12	1			良い 連絡帳が良い	

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	3	1	2	送迎時の時の話しかない。希望をすると面談してくれる	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	5	4	1	未記入1 機会が少ない 他の親御さんと話す機会がほしい	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11			2	迅速に対応してくれる	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13				親身になってくれる	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13				ホームページや会報 フェイスブックが良い	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11			1	未記入1 良い	
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7		1	4	未記入1 具体的にわからない	今後は書面にて、保護者へお知らせを行う
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11			2		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2	1		楽しみにしている 気分による 保育園より好き	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12	1			まだ緊張している 対応が早く感謝している	

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表:平成31年3月19日

事業所名 アロハ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか			○	保護者・りようしゃの ニーズに対してスタッ フ数は不足している。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか			○		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか		○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか		○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか			○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか		○			
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか		○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している か	○				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画 を作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	○				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、そ の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有しているか	○				
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか		○			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○					
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○					
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○					
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○				
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○				
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○				
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○				
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○					
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○					
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○				
	保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
		㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○			
		㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		
		㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
		㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○				
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:平成31年3月19日

事業所 アロハ 保護者等数(児童数) 13回収数 割合 60%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1			・ボール遊びをするには十分とはいえない。 ・個別に集中して勉強など取り組める場がない。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	3	1		個々の特性に対してあまり理解していないように思う	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	4		2	階段が急で少し怖い、もう少し階段の照明があるといい。	
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	11	1	1		特性に合った療育をして欲しい。	
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	3	2		
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11		1	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	10	2	1			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	3	2			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	2	4	2	茶話会的なものがあればいいと思う。	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2	1	2	改善を求め連絡をしたが、その後何の連絡もなかったりする。	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1	1		こちらから子どもの様子を伝えてばかりいる。	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11		1	1		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	10		1	2		
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9		2	1	マニュアル等をもったことが無い。	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	3	1	4	子どもから訓練をしたと聞いたことが無い。	
満足	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	11	2				

年度	⑱ 事業所の支援に満足しているか	11	1	1		送迎の時間だけ長く必要な時間が無くなっている。	
----	------------------	----	---	---	--	-------------------------	--

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。



事業所名 アロハ

公表:平成31年3月19日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか					
	②	職員の配置数は適切であるか					
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか					
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか					
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか					
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか					
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか					
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか					
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか					
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか					
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか					
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか					

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか					
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか					
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか					
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか					
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか					
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか					
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか					
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか					
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか					
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか					
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか					
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか					
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか					

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか					
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか					
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか					
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか					
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか					
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか					
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか					
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか					
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか					
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか					
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか					
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか					
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか				
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか					
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか					

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか					
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか					
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか					
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか					

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:平成31年3月19日

事業所名 アロハ

保護者等数(児童数)

回収数

割合

%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか						
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか						
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか						
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか						
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか						
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか						
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか						
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか						
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか						
保護者 への 説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか						
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか						
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか						
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか						

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか						
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか						
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか						
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか						
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか						
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか						
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか						
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか						
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか						
	㉓	事業所の支援に満足しているか						

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。